

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
社会	講義	2	大西 慎也
【授業のテーマ及び到達目標】			
1、 小学校社会科の授業を開発、実践するために必要な、地理的分野、歴史的分野、公民的分野に関する知識を習得する。			
2、 空間軸・時間軸・社会軸による社会認識形成の過程において働く「思考」「判断」について理解する。			
【授業の概要】			
小学校社会科で扱う内容である、地理的分野、歴史的分野、公民的分野に関する講義を行う。社会諸科学の最新の研究成果を理解する。また、社会認識が空間軸・時間軸・社会軸に応じて形成されることを、それぞれの分野の講義において事象を探究し理解する。			
【全体の授業計画・内容】			
1. 小学校社会科の内容構成と授業構成理論の特徴			
2. 社会認識のしくみ			
3. 地理的見方・考え方(地理的事象を認識するしくみ)			
4. 日本の諸地域と地理的環境			
5. 日本の産業構造			
6. 地図の利用			
7. フィールドワークについて			
8. 歴史を学ぶ意味			
9. 日本列島における歴史(原始～古代)			
10. 日本列島における歴史(中世～近世)			
11. 日本列島における歴史(近代～現代)			
12. 歴史上の人物と文化財			
13. 国内・海外時事問題			
14. まとめ①			
15. まとめ②(社会的論争問題について)			
【準備学習の内容】			
予習のあり方: 毎時間配布する予習プリントに取り組んでくこと。			
学習のあり方: 意欲的に講義に参加し、より多くの知識を習得しようとすること。			
復習のあり方: その日に学んだことをノート等に整理すること。			
【成績評価】			
最終まとめの課題 50%			
毎時間の小テストとリフレクションカードのコメント 50%			
以上の項目により総合的に評価する。			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
小テストやリフレクションカードには、必ずコメントをつけて次時に返却する。			
【テキスト】			
特になし(プリントを配布する)			

【参考文献】

原田智仁『社会科教育のルネサンス』保育出版社 2016.4